



# クローズアップ

—今、「旬」の人や団体をご紹介—

人の輪広げ、誇れる地域に

令和3年11月、地域課題を自分たちで解決しようと設立された芳田自治協議会。現在約100名の会員が、地域の理解と協力を得ながら、魅力向上や地域の活動拠点の整備に向け取り組んでいます。

「住民同士で関係が築けてこそ地域課題に向き合える。大きなイベントは人をつなぐ大切な場」と会長の松山秀樹さんは語ります。

まず、その思いが形となったのが、芳田地区の特産品であるイチゴを給水代わりに食

人を結び地区のまちづくりに取り組む

## 芳田自治協議会

(後列) 内橋寿文事務局長  
(前列) 左から、増岡宏之副会長、松山秀樹会長

べる「いちごの里親子マラソン」。4回目を迎えた今年度は過去最多の201人が参加。世代や地域を超え地元の魅力を引き出す交流を生み出し、また、空き家を活用して移住や二地域居住にも挑戦することで、地域ににぎわいを生み出すとともに、有事の際には空き家を2次避難先と活用することも考えています。さらに、今年4月には、子どもたちが夢中になって遊び、学び、伸び伸びと育つ場所をつくりたいと「ほうた自然学校」を開校予定。たけのこ掘りや里山キャンプなど、地域資源を生かし、未就学児から中学生までが保護者と一緒に体験ができる機会をつくろうと準備中です。「教科書だけでは学べない生きる力を身に付けてほしい」とPRします。

今年20日開催の「まちづくりフォーラム」では、メンバーがこれまでの取り組みやまちづくりへの思いを語ります。「地域資源を見つめ直し、人口が減っても若い人に誇れるまちをつくっていききたい」と松山さん。今後も住民一丸となり、芳田地区の課題解決に取り組むとしています。

## いきいき♪ にしわきっ子

お子さんの写真を広報紙に掲載しませんか。QRコードを読み取ると、応募フォームにつながります。

- ▶対象 市内在住のおおむね12歳までのお子さん
- ▶申込み・問合せ 秘書広報課(市役所内線3051)



### 写真を募集しています

お子さんを写したとっておきの1枚はありませんか。

- ▶対象 市内在住のおおむね12歳まで
- ▶申込方法 メールに写真データを添付して下記の情報をお送りください。
  - ①お子さんの氏名(ふりがな)
  - ②生年月日
  - ③保護者の氏名(ふりがな)
  - ④住所
  - ⑤電話番号
  - ⑥お子さんへのメッセージ(10字程度)



天野 暖子ちゃん  
1歳11か月  
元気に大きくなってね  
朋彦さん・史子さん(西脇)



中村綾ちゃん 羽那ちゃん  
5歳5か月 1歳7か月  
姉妹仲良く元気に育ってね!  
秀昭さん・美穂さん(野村町)

「広報にしわき」は市民の皆さんとともに作っています。情報をお寄せください。